



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場会社名 太平洋セメント株式会社 上場取引所 東・福  
 コード番号 5233 URL <http://www.taiheiyo-cement.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 修二  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 荒木 誠一 (TEL) 03-5531-7334  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	353,519	1.8	10,625	84.3	4,567	310.2	539	—
24年3月期第2四半期	347,203	1.2	5,763	—	1,113	—	△3,383	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,962百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △2,583百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	0.44	—
24年3月期第2四半期	△3.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	966,551	195,074	17.5
24年3月期	982,231	196,144	17.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 168,946百万円 24年3月期 169,614百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
25年3月期	—	2.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	735,000	1.0	40,000	37.1	30,500	64.9	10,000	27.5	8.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	1,237,800,586株	24年3月期	1,237,800,586株
25年3月期2Q	9,503,713株	24年3月期	9,480,568株
25年3月期2Q	1,228,309,260株	24年3月期2Q	981,879,420株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、経済情勢、市場需要、原燃料価格、為替レート等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により緩やかな回復の兆しが見られたものの、欧州債務危機などを背景とした海外経済の減速や円高の長期化など先行き不透明な状況が続きました。

米国経済は、一部指標に明るさが見られるものの、失業率や設備投資の動向などに、今後も注視していく必要があります。中国経済は、固定資産投資などの指標に伸び率の鈍化が見られ、景気拡大は減速しています。その他のアジア地域経済においても、多くの地域で景気拡大に減速が見られます。

このような状況の中で、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,535億1千9百万円（対前年同期63億1千5百万円増）、営業利益は106億2千5百万円（対前年同期48億6千1百万円増）、経常利益は45億6千7百万円（対前年同期34億5千3百万円増）、四半期純利益は5億3千9百万円（前年同期は33億8千3百万円の四半期純損失）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。各金額については、セグメント間取引の相殺消去前の数値によっております。

#### ① セメント

当第2四半期連結累計期間におけるセメントの国内需要は、東日本大震災の復旧・復興工事やその他公共工事が増加しており、また都市部における民間住宅投資が堅調に推移しているため、2,134万トンと前年同期に比べ5.8%増加しました。そのうち、輸入品は36万トンと前年同期に比べ8.7%増加しました。また、総輸出数量は501万トンと前年同期に比べ2.6%減少しました。

このような情勢の下、当社グループにおけるセメントの国内販売数量は受託販売分を含め736万トンと前年同期に比べ7.4%増加しました。輸出数量は169万トンと前年同期に比べ0.1%増加しました。

米国西海岸のセメント、生コンクリート事業は、民需が上向きつつあり、販売数量は回復傾向にあります。中国のセメント事業は、不動産投資の停滞による影響を受けました。ベトナムのセメント事業は、石炭価格上昇等の影響を受けましたが、市場の改善もあり、業績を伸ばしました。フィリピンのセメント事業は、堅調な内需に支えられ、好調に推移しました。

以上の結果、売上高は2,341億7千万円（対前年同期148億2千8百万円増）、営業利益は62億7百万円（同43億1千1百万円増）となりました。

#### ② 資源

骨材事業は、震災復興需要が動き出したことから東北地区等の出荷が増加し、販売数量は前年同期を上回りました。また、軽量盛土についても、港湾工事向け出荷等で販売数量は前年同期を上回りました。鉱産品事業は、鉄鋼向け石灰石の出荷等が底堅く推移しており、販売数量は前年同期並みとなりました。建設発生土処理事業についても、堅調に推移しており、受入数量は前年同期並みとなりました。

以上の結果、売上高は409億1千3百万円（対前年同期10億8百万円増）、営業利益は16億1千3百万円（同8億5千6百万円増）となりました。

#### ③ 環境事業

石炭灰処理や脱硫材の販売などが好調に推移し、また、災害廃棄物処理などの取り組みを進めたことから、売上高は351億9千7百万円（対前年同期44億3千7百万円増）、営業利益は31億4千7百万円（同2千8百万円増）となりました。

#### ④ 建材・建築土木

建材・建築土木事業は全般的に堅調であったものの、地盤改良工事の着工遅れ等により、売上高は350億3百万円（対前年同期3億6千7百万円減）、営業損失は7億8千3百万円（前年同期は11億1千万円の営業損失）となりました。

#### ⑤ セラミックス・エレクトロニクス

セラミックス事業は、半導体製造装置及び液晶製造装置向け製品ともに、ユーザーの設備投資抑制の影響により、また、エレクトロニクス事業は、前期における一部の海外拠点での事業撤退により、売上高は69億1千5百万円（対前年同期144億9千6百万円減）、営業損失は7億3千6百万円（前年同期は1億4千7百万円の営業損失）となりました。

#### ⑥ その他

売上高は316億8千6百万円（対前年同期20億1千1百万円増）、営業利益は12億8千3百万円（同1千3百万円減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は前連結会計年度末に比べ156億円減少して9,665億円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ103億円減少して3,241億円、固定資産は同53億円減少して6,424億円となりました。流動資産減少の主な要因は受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。固定資産減少の主な要因は投資有価証券が減少したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ146億円減少して7,714億円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ125億円減少して4,356億円、固定負債は同20億円減少して3,358億円となりました。流動負債減少の主な要因は1年内償還予定の社債が減少したことによるものであります。固定負債減少の主な要因は社債が増加した一方で、長期借入金が増加したことによるものであります。有利子負債（短期借入金、1年内償還予定の社債、社債、長期借入金の合計額）は、前連結会計年度末に比べ139億円減少して4,962億円となりました。

純資産は前連結会計年度末に比べ10億円減少して1,950億円となりました。主な要因は、配当金の支払いに伴う利益剰余金の減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、復興需要が引き続き景気を下支えするなかで、海外経済の持ち直しに伴い、再び景気回復へ向かうことが期待されますが、欧州や中国など海外経済をめぐる不確実性は大きく、先行きは予断を許さない状況が続くものと思われまます。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、主要事業である国内セメント事業において、復旧・復興需要や都市開発、物流倉庫建設などを中心として官需、民需とも堅調に推移することが期待されるものの、資材や人手の不足などによる工事の遅れや景気の下振れに留意が必要です。

また、米国景気につきましては、緩やかな回復基調が続くと見込まれますが、雇用環境の改善の遅れや財政緊縮の影響などリスク要因もあり、力強い回復は期待できない状況です。

このような状況を勘案し、本日「平成25年3月期第2四半期累計期間の業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	64,505	59,369
受取手形及び売掛金	167,638	161,666
商品及び製品	26,155	27,908
仕掛品	4,773	5,432
原材料及び貯蔵品	37,145	37,439
その他	36,046	34,325
貸倒引当金	△1,766	△1,994
流動資産合計	334,496	324,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	150,556	148,190
機械装置及び運搬具（純額）	106,117	105,279
土地	151,935	151,427
その他（純額）	53,180	53,795
有形固定資産合計	461,789	458,692
無形固定資産		
のれん	12,343	11,497
その他	29,617	29,590
無形固定資産合計	41,960	41,088
投資その他の資産		
投資有価証券	78,574	74,698
その他	71,141	73,550
貸倒引当金	△5,730	△5,626
投資その他の資産合計	143,984	142,622
固定資産合計	647,735	642,403
資産合計	982,231	966,551

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	84,300	81,088
短期借入金	251,710	250,149
1年内償還予定の社債	30,366	20,391
未払法人税等	3,251	6,115
賞与引当金	4,395	4,376
役員賞与引当金	7	7
事業譲渡損失引当金	4,191	4,191
その他の引当金	1,468	1,232
その他	68,488	68,070
流動負債合計	448,180	435,622
固定負債		
社債	22,143	42,710
長期借入金	205,965	183,019
退職給付引当金	24,802	24,772
役員退職慰労引当金	550	452
関係会社事業損失引当金	138	138
特別修繕引当金	286	318
資産撤去引当金	2,002	1,898
資産除去債務	7,103	8,028
その他	74,915	74,516
固定負債合計	337,907	335,854
負債合計	786,087	771,477
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	86,174	86,174
資本剰余金	50,636	50,636
利益剰余金	85,041	83,122
自己株式	△916	△922
株主資本合計	220,935	219,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	985	△142
繰延ヘッジ損益	20	17
土地再評価差額金	4,710	4,637
為替換算調整勘定	△53,678	△51,301
在外子会社の退職給付債務調整額	△3,358	△3,274
その他の包括利益累計額合計	△51,321	△50,064
少数株主持分	26,529	26,127
純資産合計	196,144	195,074
負債純資産合計	982,231	966,551



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	347,203	353,519
売上原価	284,106	284,755
売上総利益	63,097	68,764
販売費及び一般管理費	57,333	58,138
営業利益	5,763	10,625
営業外収益		
受取利息	231	212
受取配当金	462	395
その他	2,199	2,275
営業外収益合計	2,893	2,883
営業外費用		
支払利息	4,749	4,646
持分法による投資損失	273	2,333
その他	2,520	1,961
営業外費用合計	7,543	8,941
経常利益	1,113	4,567
特別利益		
固定資産処分益	586	2,502
投資有価証券売却益	16	27
その他	272	471
特別利益合計	876	3,001
特別損失		
固定資産処分損	631	1,682
投資有価証券評価損	165	702
災害による損失	1,465	—
その他	1,411	519
特別損失合計	3,674	2,905
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,684	4,663
法人税等	1,379	4,189
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,063	474
少数株主利益又は少数株主損失(△)	319	△64
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,383	539

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△3,063	474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△865	△963
繰延ヘッジ損益	△14	△6
為替換算調整勘定	△388	1,629
在外子会社の退職給付債務調整額	145	84
持分法適用会社に対する持分相当額	1,603	743
その他の包括利益合計	479	1,488
四半期包括利益	△2,583	1,962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,760	1,870
少数株主に係る四半期包括利益	177	92

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,684	4,663
減価償却費	20,227	18,860
のれん償却額	1,038	1,014
持分法による投資損益(△は益)	273	2,333
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	165	702
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,105	△1,847
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△133	△97
賞与引当金の増減額(△は減少)	△81	△21
貸倒引当金の増減額(△は減少)	94	128
資産撤去引当金の増減額(△は減少)	△25	△103
その他の引当金の増減額(△は減少)	△10	△194
受取利息及び受取配当金	△694	△607
支払利息	4,749	4,646
投資有価証券売却損益(△は益)	△4	△35
固定資産処分損益(△は益)	45	△823
売上債権の増減額(△は増加)	6,262	6,198
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,291	△2,340
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,019	△3,621
災害損失	1,465	—
その他	△3,794	2,263
小計	18,477	31,116
利息及び配当金の受取額	968	855
利息の支払額	△4,832	△4,842
法人税等の支払額	△2,620	△2,822
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,992	24,307
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	578	△242
固定資産の取得による支出	△7,974	△13,893
固定資産の売却による収入	977	4,116
投資有価証券の取得による支出	△320	△310
投資有価証券の売却による収入	157	178
貸付けによる支出	△1,956	△483
貸付金の回収による収入	1,173	1,136
その他	115	207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,248	△9,290

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,102	△27,753
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△12,000	—
長期借入れによる収入	33,945	26,815
長期借入金の返済による支出	△32,544	△25,598
社債の償還による支出	△10,178	△10,208
社債の発行による収入	600	20,800
株式の発行による収入	33,350	—
自己株式の取得による支出	△5	△6
自己株式の売却による収入	1	0
配当金の支払額	△2,372	△2,457
少数株主への配当金の支払額	△466	△419
その他	△1,018	△1,644
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,208	△20,472
現金及び現金同等物に係る換算差額		
	△78	125
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,872	△5,330
現金及び現金同等物の期首残高	61,265	59,785
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△5	△70
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	47	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	72,180	54,384

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	セメント	資源	環境 事業	建材・ 建築土木	セラミッ クス・ エレクト ロニクス	計				
売上高										
外部顧客への売上高	212,888	31,556	28,093	33,733	21,406	327,679	19,524	347,203	—	347,203
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,453	8,348	2,666	1,636	5	19,110	10,150	29,260	△29,260	—
計	219,342	39,905	30,760	35,370	21,412	346,790	29,674	376,464	△29,260	347,203
セグメント利益又は 損失(△)	1,895	756	3,118	△1,110	△147	4,512	1,297	5,810	△46	5,763

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、エンジニアリング事業、情報処理事業、金融事業、運輸・倉庫事業、スポーツ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	セメント	資源	環境 事業	建材・ 建築土木	セラミッ クス・ エレクト ロニクス	計				
売上高										
外部顧客への売上高	228,233	32,074	32,438	33,074	6,897	332,717	20,802	353,519	—	353,519
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,937	8,839	2,759	1,928	18	19,483	10,883	30,367	△30,367	—
計	234,170	40,913	35,197	35,003	6,915	352,201	31,686	383,887	△30,367	353,519
セグメント利益又は 損失(△)	6,207	1,613	3,147	△783	△736	9,447	1,283	10,731	△106	10,625

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、エンジニアリング事業、情報処理事業、金融事業、運輸・倉庫事業、スポーツ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。